

第5回「相互連関を考慮したライフライン減災対策に関するシンポジウム」の開催と論文募集

開催日:12月6日(金)

行事コード:27307 /略称:ライフラインシンポ

【シンポジウム開催の趣旨】

ライフライン地震被害の減災対策に関しては大学研究者やライフライン事業者等を中心に豊富な研究実績があり、これらに基づいた有用な技術が実務において多数展開されています。しかし、近年の地震や大規模停電を伴う事故や豪雨災害などの際には、ライフライン被害の影響波及の甚大さやライフライン間の被害の複雑な相互依存性等の新たな問題点が浮かび上がってきています。さらに、2011年3月に発生した東北地方太平洋沖地震では、ライフライン施設に多大な被害が生じるなど、自然災害時の都市機能防御戦略のあり方を模索することは急務であると考えられます。

このような背景を踏まえ、近年のライフライン地震防災の最新の研究動向や実務の先進的な取り組み事例並びに実態等を、ライフライン地震工学に関わる研究者・技術者、事業者および自治体職員等の中で広く情報共有をはかることを目的として、標記第5回シンポジウムを開催することといたしました。今回は、東北地方太平洋沖地震や南海トラフ沿いの地震への対応策なども含めて、幅広く活発な議論ができることを期待しております。みなさまふるってご応募下さいますよう、ご案内申し上げます。なお、詳細は、「ライフラインの地震時相互連関を考慮した都市機能防護戦略に関する研究小委員会(委員長:能島暢呂・岐阜大学教授)」のホームページをご覧ください。

記

- 1.主催-----土木学会(担当:地震工学委員会 ライフラインの地震時相互連関を考慮した都市機能防護戦略に関する研究小委員会(委員長:能島暢呂・岐阜大学教授))
- 2.日時-----12月6日(金) (10:00~18:00の予定)
- 3.場所-----土木学会講堂(〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内)
- 4.対象とする内容-
道路・鉄道・地下鉄・港湾施設や上下水道, 電力, ガス, 通信等を対象としたライフライン地震防災に関連した研究内容, および東北地方太平洋沖地震におけるライフライン被害調査等.
- 5.論文投稿方法-
 - (1)論文書式・作成要領:土木学会論文集の作成要領(<http://www.jsce.or.jp/collection/index.html>)に準ずるものとします.
 - (2)ページ数:4ページ以上
 - (3)投稿料:無料
 - (4)投稿期限:11月1日(金)
 - (5)投稿先:千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻・丸山喜久准教授宛
(yamaruyam@tu.chiba-u.ac.jp)に電子メールで投稿をお願いします.
- 6.シンポジウム参加方法-
 - (1)参加費:6,000円(シンポジウム講演集込み)
 - (2)申込方法:学会HP 本部主催行事の参加申込より申込下さい.
<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>
7日前後にて折り返し,「参加券」および「請求書」を郵送いたします.
 - (3)申込期限日:11月20日(水)
- 7.問合せ先-----土木学会事務局 研究事業課 尾崎史治
TEL 03-3355-3559